

## 第7回震災復興会議 要旨

話 題	内 容
住民説明会の結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JRの代行バスについて、ぐるりん号を活用する場合、亶理町との手続きに時間がかかる（21ページ）とのことだが、どういうことか。</li> <li>→ [町からの回答] ぐるりん号を亶理町まで走らせるためには、亶理町議会の承認が必要になるためです。</li> <li>• 「宮城病院を拡幅し・・・」とあるが、回答が回答になっていない。宮城病院の利用者の半分は町外の方であることから、引き続き新駅の誘致を検討して欲しい。</li> <li>→ [町からの回答] 新たなまちづくり計画と併せて、新駅の位置については、今後JRと調整していきます。</li> </ul>
震災復興計画基本構想（案）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「自助・共助」の理念の下、自主防災組織を強化・・・（35ページ）とあるが、今回のような大災害の場合、一つの防災組織ではどうにもならないので、連携を考えなければならないのではないか。</li> <li>→ [町からの回答] 新しいまちづくりにより行政区や防災組織等の再編も必要になってくることから、連携の必要性については、その時点において検討します。</li> <li>• 丘通りは公共施設の被災はあったが、生活は普通にしている。浜通りの復旧・復興を最優先にまずは元の生活に戻してから、総合計画的なことをやるべきである。</li> <li>→ [町からの回答] そのような考え方で、復旧期・再生期・発展期に分けて計画しています。</li> <li>• 粘り強い防潮堤とのことだが津波シミュレーションをやっているのか。また、それによって農地や施設等の農業財産を守ることができるのか。</li> <li>→ [町からの回答] 津波シミュレーションは実施しています。なお、農地や施設等の農業財産については、多重防御によっても津波の被害を逃れることは出来ない結果となっておりますが、例えばいちごハウスはより安全な農免道路沿いに集約する計画としています。</li> <li>• 新山下駅周辺に保育所と子育て支援センターをつくるという計画であるが、その場所は津波が来たエリアでもあり、また、保育所の集約で園児も多くなることが見込まれるため、避難時の不安を大きくしまうのではないかと。役場周辺や高台などへの設置を検討して欲しい。</li> <li>→ [町からの回答] 今後、ワークショップ等、関係する方々との話し合いにより、検討していきます。</li> <li>• 山元町ブランド産業として、「仙台いちご」とあるが、この際、</li> </ul>

	<p>ネーミングも含めて、山元町のいちごとしてのブランド化を考えてはどうか。  → [町からの回答] 今後、検討していきます。</p>
<p>震災復興計画行動計画（案）について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「自主防災会防災対策用備品整備事業」とあるが、自主防災会ごとに避難所がないのではないか。</li> <li>→ [町からの回答] 新しいまちづくりにより行政区や自主防災会の再編も必要になってくることから、連携の必要性については、その時点において検討します。</li>   <li>• 「墓地整備支援事業」とは具体的にどういうことをするのか。また担当課はどこか。</li> <li>→ [町からの回答] 墓地は個人の財産なのでどのような支援が出来るのか検討しているところですが、必要に応じて公共墓地のようなものも考えていく予定です。担当課は、震災復興推進課になります。</li> </ul>